



新世紀明けましておめでとうございます。

ごあいさつ

いよいよ新世紀がやってきました。21世紀の幕開け、おめでとうございます。皆様、20世紀最後の夜はどう過ごされましたでしょうか。世紀をまたぐ世代に生まれた喜びは、ひとしおですね。

当事務所は、2000年12月をもって開設5周年を迎えました。スタッフもさらに増え、活気が出てきました。これも皆様のご支援とご指導の賜と、深く感謝しております。

昨年、陸上女子で初の金メダルを獲得した高橋尚子選手と小出監督が大変話題になりました。私は、小出監督の、人は誉めて動かす、という考え方に打たれました。元来、私は人を誉めるのが苦手なたちで、早速監督の著書「君ならできる」を買込み、熟読しました。大切なのは、人をじっくり観察し、的確な場面で的確に誉めることだということはいわかったのですが、これがなかなか難しい。まだまだ修行が足りないかと反省することしきりです。

当事務所も新世紀を迎え、新時代に対応できる明るさとバイタリティー、そして専門性を持った事務所にしたいと思っております。今後ともご支援・ご指導のほど、よろしくお願ひ致します。

皆様の21世紀が、幸せで、楽しさに満ちあふれますように。



特殊法人監視機構

昨今、インターネットのホームページブームが沸き起こっています。ヤフーやネットスケープの検索ページで「特殊法人」と打ち込んでリターンキーを押してみてください。すると、「特殊法人監視機構ホームページ」が出てきます。特殊法人とは？どんな事が書いてあるの？と興味を持たれた方は是非お訪ね下さい。郵便貯金や簡易保険はどのように運

用されているか知りたい人もどうぞ。

このホームページを見た人からの講演依頼があり、先頃、東京国際フォーラムにおいて「特殊法人のデュー・デリジェンス」というテーマで経済セミナーの講師を務めました。出席者は証券会社、銀行系金融機関、特殊法人などでした。

特殊法人のデュー・デリジェンスとは、適法性、合目的性（社会的意義との合致）、経済的合理性、経営の透明性（情報公開）という各観点からその査定を行おうという試みです。さらに、納税者、官僚、投資家、国会議員など多様な視点からみた特殊法人の客観的価値の分析、また、国と膨大な数に上る関連会社との連結決算の不在、情報公開不足など、特殊法人のデュー・デリジェンスを阻む問題点について考察しました。講演内容については、今後ホームページに掲載いたしますので、ご覧下さい。



元本は保証人から取れ

最近、消費者金融、商工ローンといった金融業者が業績を伸ばしていますが、これらの業者はいかなる手法で貸し出しを行っているかご存じでしょうか。

消費者金融、商工ローンといった金融業者は主債務者から元本を回収しようとは考えていません。当初から元本は保証人から取り立て、主債務者からは利息を回収できればよいと考えているのです。

しかし、一方で、保証人の立場からすると、保証人は通常主債務者との人間関係に基づいて保証人となっているため、自分が債権の全額を請求されるとはあまり考えていないのが実情です。

この点、法的には保証契約は債権者と保証人との間で結ばれるものであり、主債務者と保証人との取り決めは、保証人の責任内容には関係ありません。特に、連帯保証人は、債権者が保証人に債務の履行を要求してきた

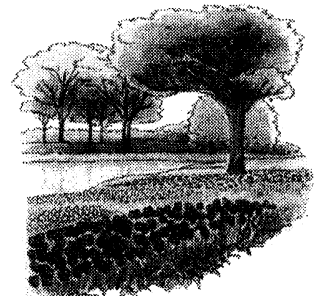
場合に、まず主債務者の財産に執行せよと言って、請求を拒絶できる抗弁権を有しないので、債権者は初めから主債務者ではなく連帯保証人に請求していくことができるのです。

このように、保証人の自己の責任に対する認識と、金融業者の思惑の間には大きなギャップがあると言えます。金融業者は、保証人から元本を回収するつもりなので、主債務者の資力を慎重に判断することなく、保証人が資力のある人であれば貸し出しを行っています。

ところで、1998年に政府が銀行の貸し渋り対策として導入した、特別信用保証制度というものがあります。中小企業が金融機関から融資を受ける際、全国の信用保証協会が債務の保証をします。これにより、中小企業は無担保で融資を受けられますが、債務の返済がなされない場合には全国の信用保証協会が返済を肩代わりすることになります。この原資は税金です。

保証協会の保証が付いていれば、融資先の企業（主債務者）が倒産しても、信用保証協会が債務を肩代わり返済し、銀行等の金融機関が損失を被ることはないで、銀行は融資先の企業の返済能力など考慮することなく、どんどん貸し出しを行ってしまうのです。利息のみ融資先の企業から回収し、元本は保証人の信用保証協会（国）から回収すればよいという発想で、安易に融資を行うようになってきているのが現状です。

これまでは銀行は、企業の経営状態を審査したうえで融資し、企業は銀行の信用を受けながら、発展していくという良好な関係が成立していましたが、国による特別保証制度により、無責任な貸し付けが行われるようになり、一種のモラルハザード（倫理感欠如）が起こっているといえるのではないのでしょうか。



中津のばあちゃん

私の祖母の家は、正確に言うと、福岡県築上郡吉富町にある。しかし、私は祖母のことを昔から「中津」のばあちゃんと呼んでいた。今でいう福岡県の豊前市、築上郡、それと県境で接する大分県の中津市、宇佐市あたりは、昔の豊前藩の影響で、中津を中心とする経済・文化圏が形成されているためである（ちなみに、福沢諭吉の生誕地が中津）。

私が、初めて一人で中津のばあちゃんの家に行ったのが、小学校4年生か、5年生の頃だった。私が乗る竹田駅（豊肥線）から中津駅（日豊本線）まで、当時あった直行列車で片道約3時間の旅であった。事前に母親が私のことを連絡してくれていたもので、中津駅に着いたらばあちゃんに電話をして迎えに来てもらうことになっていた。しかし私は、ばあちゃんをびっくりさせようという思いから、中津駅から一人で歩いていくことにした。駅を降りて、国道10号線まで出て、右に曲がり、県境を流れる山国川に架かる橋を越えてすぐに左折する。しばらくして小川の橋の手前を右に曲がって少し歩くと、そこがばあちゃんの家だ。子どもの足だから、1時間以上かかった。

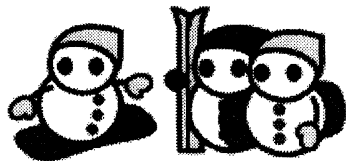
「ばあちゃん、今来たよ。」と玄関の土間で私が声を掛けると、ばあちゃんが奥から出てきて、「吉ちゃん、歩いてきたんね。ほーとろっしゃ。」と笑顔で答えてくれた。「ほーとろっしゃ」というのは、中津の方言で、びっくりした、という意味である。私はばあちゃんがしゃべる言葉が大好きだった。「いいちこ」「そうちこ」（いいですね、そうですねの意）、その地方の人が誰でも使う言葉だが、ばあちゃんが使うとぬくもりが出てくる。ばあちゃんに切ってもらったスイカを食べ、墓参りに行って手を合わせる。線香の煙と花火の火花、蚊帳。

そっとくれたお小遣い。数日があつという間に過ぎてゆく。



帰りの列車は、中津駅までばあちゃんが見送ってくれた。ばあちゃんの姿が見えなくなると、私は涙が出てきて止まらなくなった。こうして中津は、私にとって特別な町になっていった。今の中津は、昔と様変

わりした。山国川に新しい橋も架かったし、ばあちゃんにも会えなくなってしまった。しかし、あの頃、そしてばあちゃんは、いつでも生き生きと私の心の中に甦ってくる。



ゲレンデの魔法

私がスキーと初めて出会ったのは、中学校1年生の時だった。課外授業の一環として地元のスキー場へ日帰りで行ったのだが、印象是最悪。二度とスキーなんかするもんか！と思い、スキーとは無縁の中学、高校時代を過ごすことになる。

ところが、高校3年生の冬、進路も決まり、卒業までの数ヶ月何して過ごそう、と思った時、高校時代に知り合った和太鼓の先生から誘われ、特別スキーがしたかったわけではなかったのだが、仲間と旅行に行きたくて参加した。

初心者同然だったので、最初は転んでばかり。しかも、足が痛くて滑れない。

自分自身、「もう、スキーはこりこり」となるかと思っていたが、はまっている自分にびっくり。

大学でサークルを決めるとき、いろいろ悩んだあげく、あのスピード感が忘れられず、体育会系のスキーサークルに決めてしまった。

大学では、大会の選手に選ばれるため、チームメイトと競争し続けなければならず、12月から3月下旬までスキー場にこもりっぱなしで、犠牲にしたものも多く、スキーを辞めたいと思ったこともあった。でも、ゲレンデに出ると、やっぱりスキーは楽しい、と痛感させられた。

スキーのように年齢・性別を問わない「生涯スポーツ」と言われるスポーツは少ないものだと思う。スピードを感じながら真っ白い雪の中を滑るあの感覚は、スノーボードとは違い、滑ったものにしかわからない快感だと思う。

あ……。なんだかゲレンデに行きたくなってきた。（小坂 由美）

Me too!

沖縄サミットでの一幕。森首相がクリントン大統領に who are you? と尋ねた。一瞬あっけにとられたクリントン大統領、すかさずユーモアたっぷりに I am Hillary's husband. と答えた。森氏はこれを受けて言った。Me too. と。

どうやら森首相、本当は How are you? と言いたかったのである。そして、クリントン大統領からの答えとして Fine thanks, and you? と返ってくることを予想して、森氏は答えたのである。Me too. と……。

私がクリントン大統領に同席していて、I'm appalled. (びっくりしたなあ) と話しかけられたら、Me too. と答えたであろう。



編集後記

夏頃から、体力増強に突如目覚め、ジョギングや腹筋、腕立て伏せに精を出しています。汗を流すことの楽しさと快感が、この源動力です。今年の夏までには、すっかり改造された体になっているかもしれません。ご注目（野村）。

ついに新世紀を迎えました。「ミレニアムカウントダウン」をしたのがつい先日の事のように思われます。1年間は本当に早いものです。

事務所スタッフも事務所開設以来最多となり、活気に溢れています。さらに飛躍的に活動できる様、一層努力いたしますので、今後ともよろしくお願い致します（小坂）。